

史料群番号 18

史料群名	おおつきぜんいち 大槻善一家文書	旧所蔵者	大槻善一
採訪時住所	茨城県鹿島郡大同村		
現在の住所	茨城県鹿嶋市		
採訪年月	昭和27（1952）年8月		
史料の年代	天明4（1784）年～文久2（1862）年	史料の総点数	7点
年代の内訳	近世 7点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第9集」に、茨城県の未整理古文書の一覧があつて、大槻善一家文書について「旧名主、残った文書はかなりあるが虫喰のため全く汚損し、ごく少量の文書のみを寄贈していただいた」と書かれている。

史料群の概要

採訪地は近世には武井村、明治22年からは大同村となった。武井村は「旧高旧領取調帳」では旗本6氏の相給である。史料の内容は、借金証文と武井村の村政に関するものだが、幕府の「御勘定所」からの河川の普請役についての通達が1点含まれている。大槻家は名主の家であった。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

